



スキー場諸元

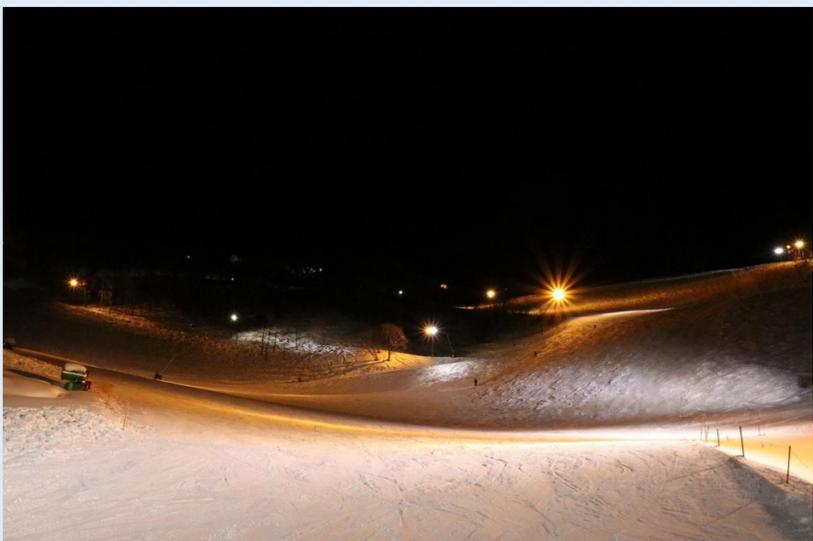
名称：奥利根スノーパーク

総面積	39 ha
コース数	9 本
標高差	616 m (560 m-1,176 m)
最大斜度	40 度 (くまおとし)
リフト総延長	3,514 m
リフト数	6 基
事業者	(株)鈴木総本社
開業時	(株)鈴木商会

高アクセス・多彩な幅広斜面とナイター。

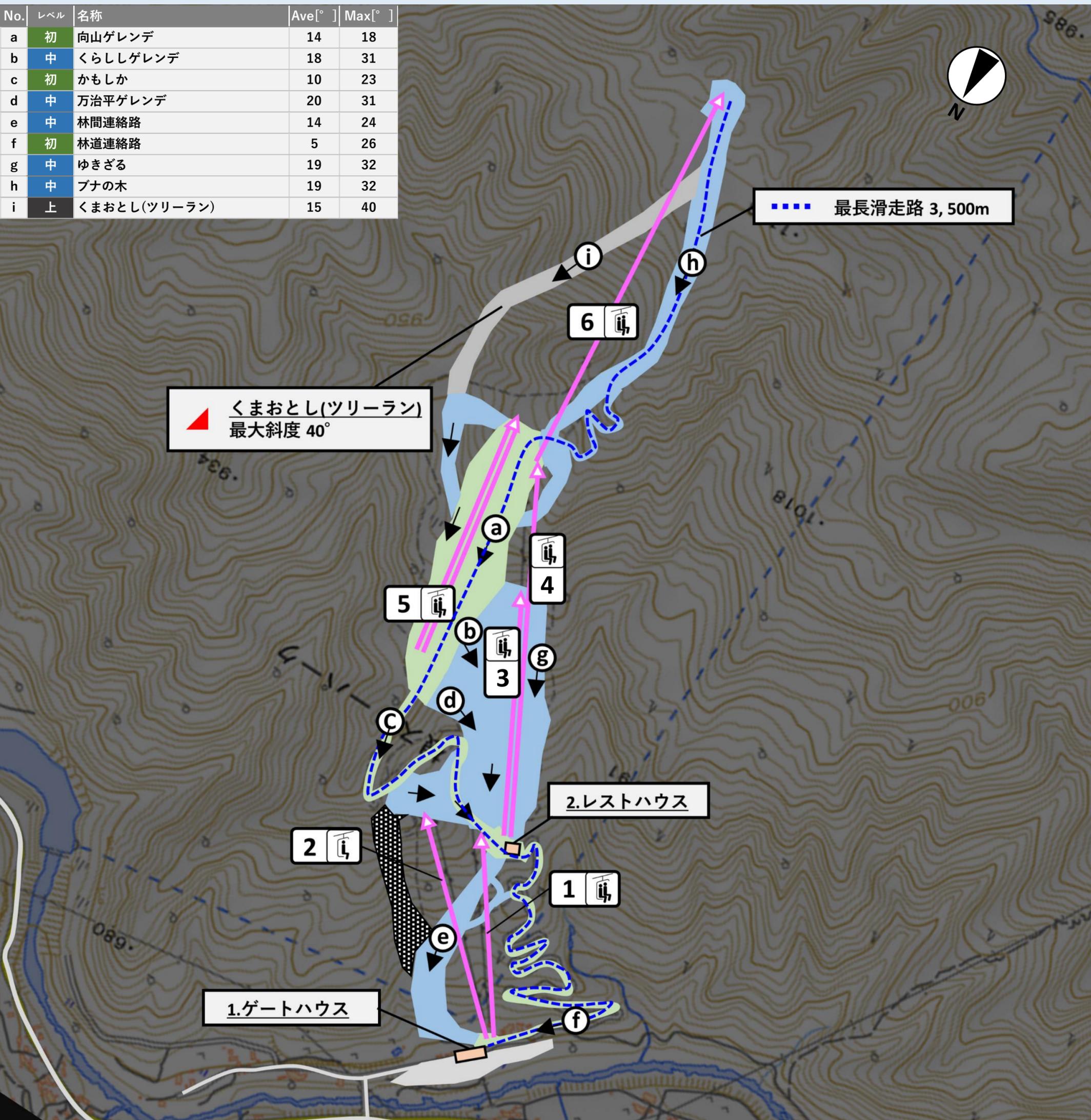
鈴木商会が運営するみなかみエリアのナイター対応日帰りスキー場。このスキー場の売りは、スキー場下部からは想像できない、多彩な幅広斜面にある。第3リフト沿線の向山ゲレンデは初級者向けのワイドバーン、第2リフト沿線のくらししゲレンデは中・上級者向けのワイドバーンがあり、日帰りスキー場の規模ながら滑っても飽きないゲレンデを持つ。ただ、初心者向けのゲレンデはほぼなく、ある程度滑走ができるような初級者から上級者向けのスキー場といえる。また、深夜24時まで実施しているナイターも魅力の一つである。

2017シーズンに第4リフトを新設してブナの木コース・くまおとし(ツリーラン)コースを新設し、標高最高地点が100m近くUPした。また、コース面積も4haほどUPした。みなかみエリアでは、比較的標高が低いスキー場のため、近年は雪不足に悩まされていたが、2017シーズンに人工降雪機が大幅に増設されたこともあり、安定したコンディションでウィンタースポーツを楽しむことができる。スキー場のアクセスはスキー場の標高が低いこともあり、山道もなくアクセスも良い。



# コースマップ

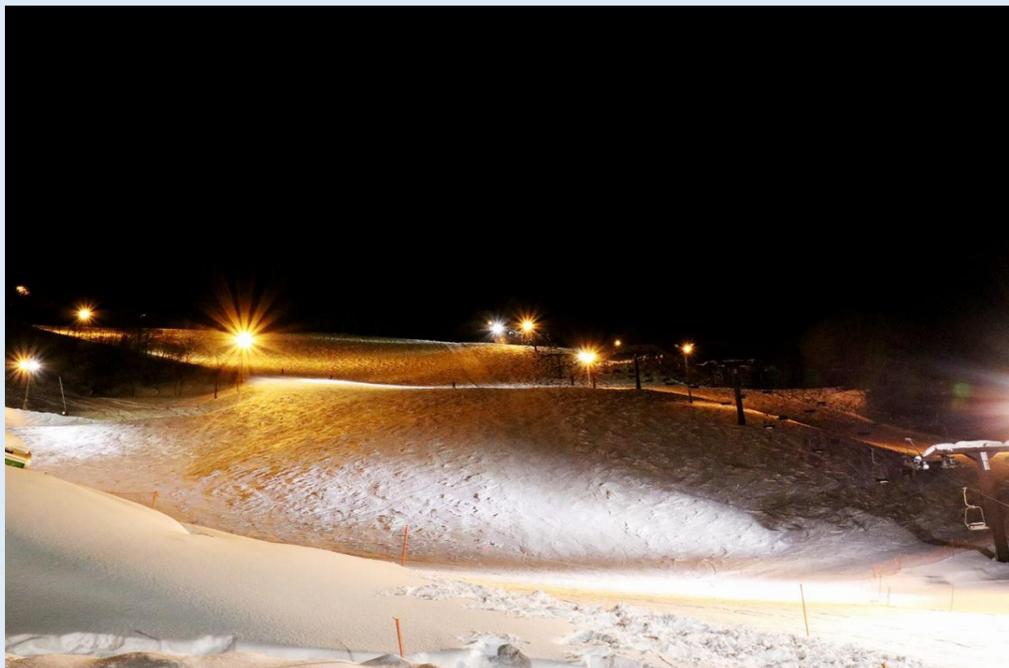
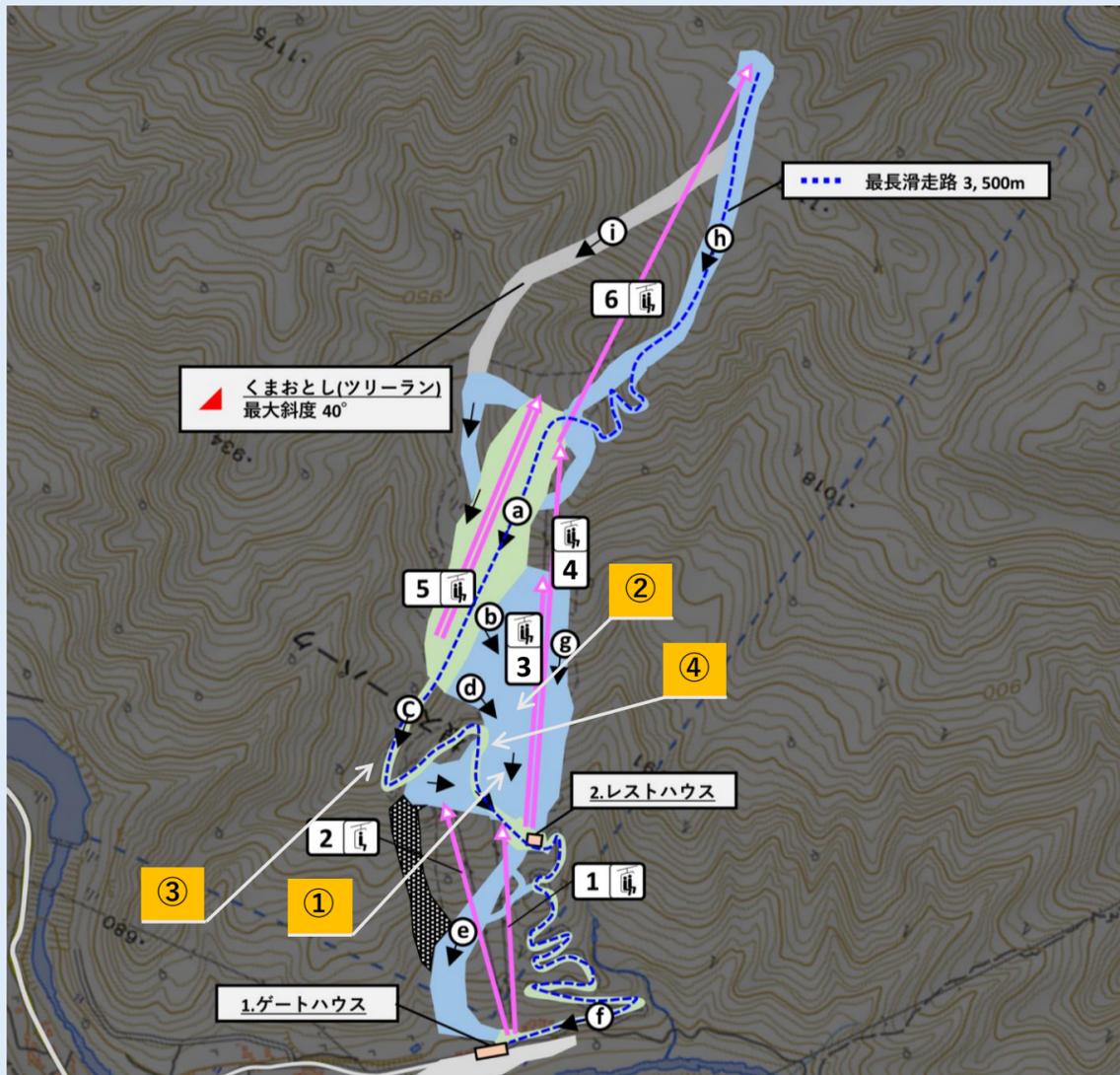
No.	レベル	名称	Ave[°]	Max[°]
a	初	向山ゲレンデ	14	18
b	中	くらししゲレンデ	18	31
c	初	かもしか	10	23
d	中	万治平ゲレンデ	20	31
e	中	林間連絡路	14	24
f	初	林道連絡路	5	26
g	中	ゆきざる	19	32
h	中	ブナの木	19	32
i	上	くまおとし(ツリーラン)	15	40



No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差 グラフ
1	2	CLF	-	第1リフトA線	440		560	748	188	
2	1	CLF	-	第1リフトB線	494		560	699	139	
3	2	CLF	-	第2リフトA線	501		693	855	162	
4	2	CLF	-	第2リフトB線	810		693	958	265	
5	2	CLF	-	第3リフトA.B線	509		843	959	116	
6	2	CLF	-	第4リフト	760		969	1,176	207	

■ : 連絡線 ▲赤字 : 休止中/廃止

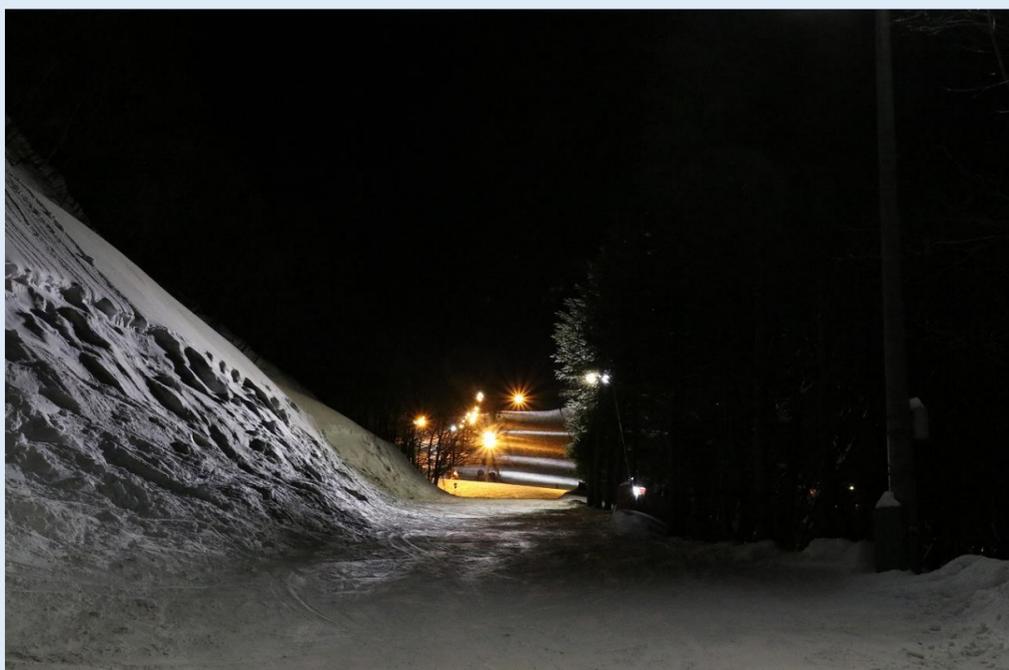
# コースマップ ~コース紹介~



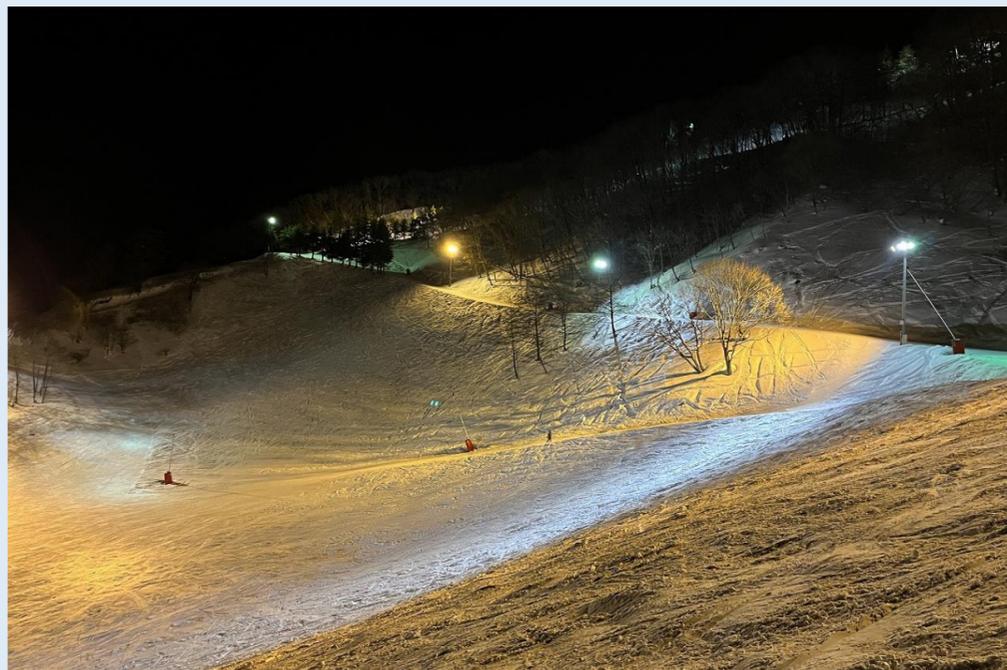
▲①b:くらししゲレンデ下部より  
幅がある中斜面のゲレンデ。意外と急なので注意。



▲②b:くらししゲレンデ上部より  
雪が降った日はパウダーも狙える。



▲③c:かもしかコース  
幅は狭いが、壁当てができる。



▲d:④万治平ゲレンデ  
かもしかコース下部は急斜面があらわれる。



▼d:万治平ゲレンデより第2リフトを望む。



c,d:第2リフトA,B線

▼a:向山ゲレンデ



e:第3リフトA,B線

# 1.第1リフトA線



▼山麓停留所



▼山頂停留所



## 線路諸元

名称：第1リフトA線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	440 m
高低差	188 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	10 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山頂
緊張位置	山頂
事業許可年月	1972年9月
運行開始年月	1995年12月
メーカー	太平索道

# 1.第1リフトA線



## 2.第1リフトB線



▼山麓停留所



▼山頂停留所

### 線路諸元

名称：第1リフトB線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	494 m
高低差	139 m
輸送能力	720 p/h
回転方向	時計
支柱数	? 基
速度	? m/s
定員	1 名
搬器	—
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1981年9月
運行開始年月	1981年12月
メーカー	日本ケーブル

No Image  
Available

## 2.第1リフトB線

### ▼e:林間連絡路

以前は、杉の子ゲレンデと呼ばれていたが、近年は積雪量減少に伴い積雪時のみ滑走可能なコースとなっている。



### ▼第1リフトB線

みなかみエリア最後のシングルリフト。最近は運行頻度は低い。



## 2.第1リフトB線



### 3.第2リフトA線



▼山麓停留所



▼山頂停留所

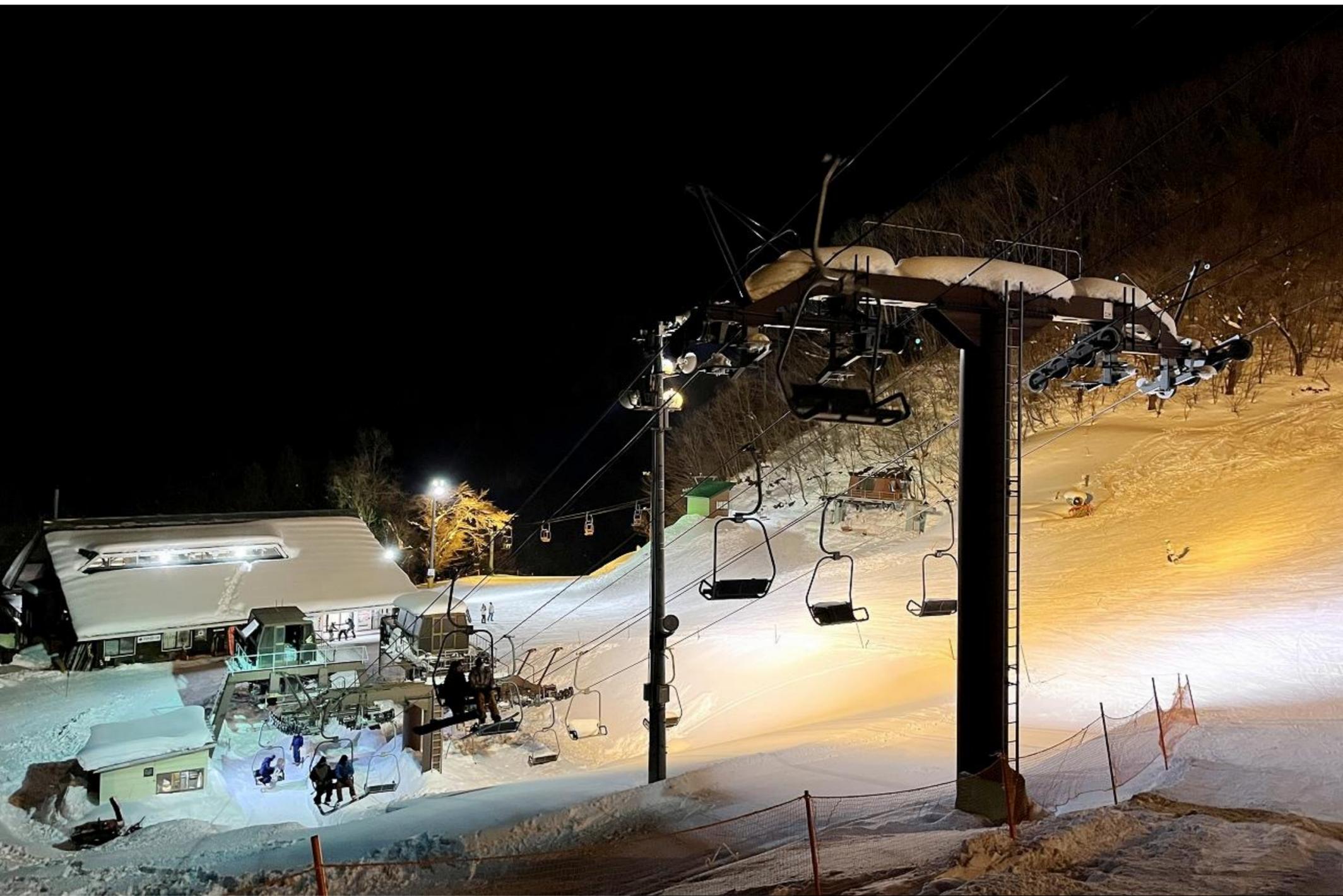


#### 線路諸元

名称：第2リフトA線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	501 m
高低差	162 m
輸送能力	1,200 p/h,
回転方向	反時計
支柱数	11 基(～10基パラレル式)
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1972年9月
運行開始年月	1989年1月
メーカー	日本ケーブル

## 4.第2リフトB線



▼山麓停留所



▼山頂停留所



### 線路諸元

名称：第2リフトB線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	810 m
高低差	265 m
輸送能力	1,200
回転方向	反時計
支柱数	16 基(～10基パラレル式)
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年11月
運行開始年月	1989年1月
メーカー	日本ケーブル

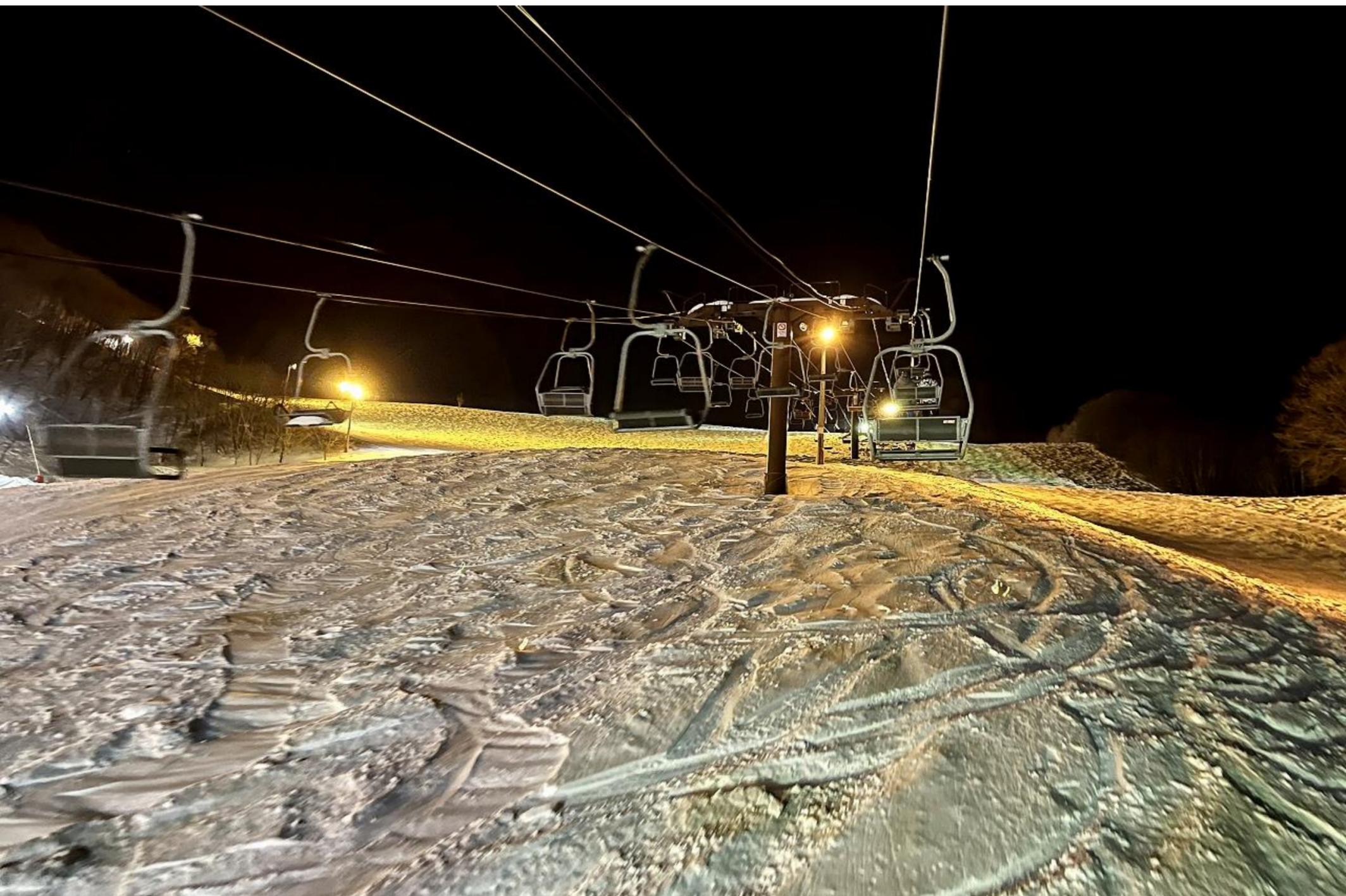
### 3,4.第2リフト



▼d:第1リフトB線  
B線の方が300mほど長い



### 3,4.第2リフト



## 5.第3リフトA.B線



▼山麓停留所

### 線路諸元

名称：第3リフトA.B線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	509 m
高低差	116 m
輸送能力	A:1,200 p/h, B:1,200 p/h
回転方向	A:時計, B:反時計
支柱数	10 基(安全索道)
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	A:1975年10月 B:1988年11月
運行開始年月	1989年1月
メーカー	日本ケーブル



▼山頂停留所



## 5.第3リフトA.B線



▼a:向山ゲレンデ



## 6.第4リフト



### 線路諸元

名称：第4リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	760 m
高低差	207 m
輸送能力	900 p/h
回転方向	反時計
支柱数	? 基
速度	? m/s
定員	? 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	2016年?月
運行開始年月	2016年12月
メーカー	安全索道

▼山麓停留所



▼山頂停留所

No Image  
Available